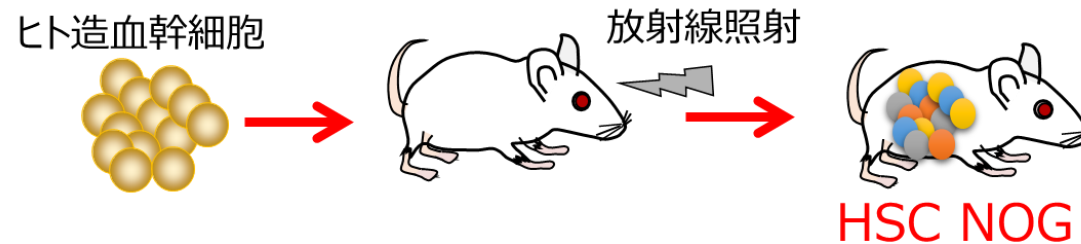


HSC移入ヒト化マウス作製方法

HSC移入ヒト化マウス作製方法



1. 受注後6週齢のNOGマウスまたは次世代NOGマウスを入荷します。
2. マウスにX線照射してマウス由来の骨髄細胞の一部を殺傷します。
3. 翌日にヒト臍帯血由来造血幹細胞(CD34(+)) HSC) $3\sim 5 \times 10^4$ 個を尾静脈から注入します。
4. 幹細胞移植後11週後にフローサイトメトリーにより、ヒト白血球の生着率を測定します。通常は生着率25%以上のものを納品します。
5. オプションとして幹細胞移入一週間で納品することも可能です。この場合の生着率の保証は致しかねます。

ヒト造血幹細胞移入ヒト化マウスにつきましてはヒト由来材料を含みます。
細胞情報シートを添付または事前提供いたしますので、こちらをご確認のうえ各機関のルールに従ってご使用ください。

ご質問はインビボサイエンス（株）まで電子メールまたはお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。
ご説明を申し上げます。
E-mail : sales@invivoscience.com
Tel : 044-201-8518